

卒業論文の要旨

論文題目	東京都（多摩地方）における川床の実現可能性に関する研究
氏名	小林 惟紗
メジャー	環境学
<p>(要旨)</p> <p>近年、河川法が改正され、東京都でも屋形船やレストランなど様々なウォーターフロント活用事業が展開されて賑わいを見せている。しかしその多くは東京湾岸に集中しており、多摩地方では河川を活用した観光地は少ないのが現状である。そこで本研究では、東京都多摩地方を対象に、京都市の貴船のような川床（かわどこ）の実現可能性について検討するとともに、多摩地方の環境保全型の地域振興に資する提案を行うことを目的とした。</p> <p>京都市の貴船にある川床を現地調査した結果、川床には、①水しぶきによる冷涼効果、②河川を吹き抜ける風による冷涼効果、③同じく風による虫除け効果、④河川のせせらぎ音のもつ 1/f ゆらぎの癒し効果、⑤周囲の会話を遮る遮音効果があることが分かった。あわせて、貴船の料亭や京都府河川事務所にインタビューを行った。</p> <p>東京都多摩地方では、川床を実施する候補地を①自然環境保全地域や国立公園・国定公園でないこと、②川幅が 2～10m であること、③電車などの公共交通機関が 2.5km 以内にあること、④河川の周辺に住宅街や工場が無いことを条件としてスクリーニングを行った。その結果、青梅市とあきる野市において計 3 河川を候補として選定した。候補河川について、青梅市 9 ヶ所、あきる野市 5 ヶ所の現地調査を行い、河川の状況や周辺の様子等から川床の実現可能性を調査するとともに、稀少生物の生息可能性等を確認した。その結果、各市 2 ヶ所ずつが川床の候補地となり得ると考えられた。また、候補地には梅や鮎といった特産品が存在しており、川床にて提供する料理に使用することで地域振興に寄与すると考えられた。これらの提案についてそれぞれの市役所にインタビューを行ったところ、川床は観光資源になり得るという認識はあり、川床で提供する特産品を使った料理の提供についても前向きであった。</p>	
<p>(指導教員の推薦のコメント)</p> <p>本卒業論文は、東京都多摩地方における川床の実現可能性について調査・提案したものである。川床の効果については現地調査ならではの発見があり、また東京都で候補地を絞り込む課程は論理的になされている。環境学をベースに、歴史、公共政策、地域振興などさまざまな学びを活用して社会に役立つ提案をしたもので、まさにリベラルアーツ的な卒業論文であるといえよう。</p> <p>筆者は、東京都 ECO-TOP プログラムの登録学生である。本学では、ECO-TOP プログラム生の卒業論文については、指導教員の他に 2 名の副査から教育的な指導を得ることとしている。本卒業論文は、専攻分野が異なる両副査からも、デスクリサーチでは得られない情報を獲得している点、安全性や自然環境への影響についても検討している点などに高い評価を得ている。</p>	